

CASBEE_Sapporo2014v1.2
 矢崎総業北海道販売株式会社新社屋

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目				
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				
	A	B	C	D	建物全体・共用部分	重み係数	住居・宿泊部分	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質					評価点		評価点		
Q1 室内環境					2.1	0.32	-	-	2.9
1 音環境					3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 騒音					3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音					3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能					3.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能					3.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	-	-	
1.3 吸音					3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境					2.1	0.35	-	-	2.1
2.1 室温制御					2.6	0.50	-	-	
1 室温					3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能	A				3.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性					2.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御					1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式					2.0	0.30	-	-	
3 光・視環境					3.5	0.25	-	-	3.5
3.1 屋光利用					4.2	0.30	-	-	
1 屋光率					5.0	0.60	-	-	
2 方位別開口					-	-	-	-	
3 屋光利用設備	A				3.0	0.40	3.0	-	
2.85%としている					3.0	0.30	-	-	
3.2 グレア対策					3.0	1.00	-	-	
1 屋光制御	A				3.0	0.30	-	-	
2 映り込み対策					4.0	0.15	-	-	
3.3 照度					3.0	0.25	-	-	
3.4 照明制御					4.0	0.15	-	-	
全般照明方式600lx(事務室)					3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境					4.0	0.25	-	-	4.0
4.1 発生源対策					5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質					5.0	1.00	-	-	
2 化学汚染物質					-	-	-	-	
F☆☆☆☆ほぼ全面的に採用。VOC対応も同様。					3.0	0.30	-	-	
4.2 換気					3.0	0.33	-	-	
1 換気量					3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能					3.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理					3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視					3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御					3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	2.9
1 機能性					2.8	0.40	-	-	2.8
1.1 機能性・使いやすさ					2.3	0.40	-	-	
1 広さ・収納性					3.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応					3.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画					1.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性					3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観					3.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース					5.0	0.33	-	-	
3 内装計画					1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理					3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計					4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保					3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務					-	-	-	-	
積雪量計測棒を設置。必要最低限の除雪対応で済むように配慮。					3.0	0.20	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-	
1 耐震性					3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					3.4	0.20	-	-	
1 空調・換気設備					5.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					3.0	0.20	-	-	
3 電気設備					3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備					3.0	0.20	-	-	
空調機熱源に電気とLPGを採用					3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					2.7	0.30	-	-	2.7
3.1 空間のゆとり					2.2	0.30	-	-	
1 階高のゆとり					1.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ					4.0	0.40	-	-	
0.212%としている。					3.0	0.30	-	-	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.40	-	-	
3.3 設備の更新性					3.0	0.20	-	-	
1 空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20	-	-	

CASBEE_Sapporo2014v1.2 矢崎総業北海道販売株式会社新社屋		欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)						
スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				重点評価項目				
		A	B	C	D	環境配慮設計の概要記入欄				
配慮項目						建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
						評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.38	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出				C		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				C	前面道路向かい側の札幌ドームに近い金属外装色を採用し、景観の連続性に配慮。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮						2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上					D	2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		B		C		2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		A			BPI=0.64(PAL値=276、基準値=430)	5.0	0.05	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		A				3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 - 住宅(専有部) -	4.1	0.60	-	-	4.1
集合住宅以外の評価(3a.3b)		A			BEI=0.88	4.1	1.00	-	-	-
集合住宅の評価(3c)		A				-	-	-	-	-
4 効率的運用						2.5	0.24	-	-	2.5
集合住宅以外の評価						2.5	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング		A				3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制		A				2.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価						-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		A				5.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		A				5.0	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水					節水コマ・節水型便器の採用、大便器には擬音装置設置	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減						3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			B			2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			B			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			B		基礎=フライアッシュセメント	5.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			B		天井材=ダイロートン、床材=フロアリューム	4.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			B			2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			B		鉄骨造、外装カラーガルバリウム鋼板。	5.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避						2.3	0.20	-	-	2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避						2.0	0.70	-	-	-
1 消火剤			B			-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			B			2.0	0.50	-	-	-
3 冷媒			B			2.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮			B		LCCO2排出率が参照値の92%	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮						2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止			B			3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			B	C	D	2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.5	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			B		各棟の地下ピットには一時貯留槽、外構には浸透樹・浸透トレンチを	4.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制					札幌ドームイベント時の来客用駐車スペース確保ふくめ十分な配慮。	5.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			B	D		2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮						2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	-
1 騒音						3.0	0.33	-	-	-
2 振動						3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭						3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						1.6	0.40	-	-	-
1 風害の抑制						1.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制						3.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制						4.4	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					「光害がドライブ」のチェックリスト項目の過半を満たしている。また、広告照	5.0	0.70	-	-	-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	-